

鎌ケ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	所管課	主要 施策 対象	うち 多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	25年度決算額 [千円]	26年度決算額 [千円]	総合評価	①評価の理由 ②平成27年度に取組む改革・改善内容	27年度予算額 [千円]
1	一般	4	1	1	116健康を支える保健・医療の充実	保健衛生事務に要する経費	健康増進課			①安心安全な医療を提供するため、二次救急事業の維持、健康管理センター管理医の配置、医師会等への補助金を支出する。 ②二次救急事業は鎌ケ谷市のみで実現することは不可能であるため、船橋市と協定を結び、確保する。	16,991	17,325	6精査・検証	①高度救急に対応した二次救急は必要不可欠であるため。また、災害時などは医師会の協力も必要であるため。 ②救急医療・災害医療の充実。	19,701
2	一般	4	1	1	116健康を支える保健・医療の充実	健康づくり推進に要する経費	健康増進課			①健康づくりのための食に関する相談・教室などで、ライフステージに合わせた食育を推進する。 ②子育て世代をはじめとする若年層へ、適正な食生活の普及啓発をしていくことが課題。	4,558	6,897	6精査・検証	①アンケートや食事記録により現状を把握し、対象者に合わせた講座や講演を行っていく必要があるため。 ②鎌ケ谷市食育推進計画の評価を行い、それに基づき第2次鎌ケ谷市食育推進計画を策定する。	6,252
3	一般	4	1	2	116健康を支える保健・医療の充実	各種健(検)診に要する経費	健康増進課	○		①各種健(検)診は、市民の健康を守るために行うもので、サービスに対する受益と負担の公平性を確保するため、平成15年度からは一部自己負担金を徴収している。乳がん検診及び子宮頸部がん検診においては、無料クーポン券とがん検診手帳等を配布する働く世代の女性支援のためのがん検診未受診者対策緊急支援事業及び新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業を実施する。 ②受診率の向上。高齢化や社会的状況により受診希望者の増加が見込まれることによる検診実施体制をどうするか課題。	92,344	97,113	6精査・検証	①疾病の早期発見、早期治療につなげることで、市民の健康保持につながるもの。健康増進法等により実施するもので廃止はできない。 ②働く世代の女性支援のためのがん検診未受診者対策緊急支援事業及び新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業を実施する。検診実施体制の検討。	107,340
4	一般	4	1	2	116健康を支える保健・医療の充実	予防接種に要する経費	健康増進課	○		①予防接種は、伝染の恐れがある疾病の発生及びまん延を予防するために行う。 ②制度の改正は、多々あり、急遽ということもある。予算も含め、迅速な対応が必要。正しい情報の提供、予防接種の意義を十分に理解してもらうことが必要。	232,406	298,236	6精査・検証	①感染症の発生及びまん延を予防するため、継続が必要。定期予防接種は、予防接種法により市町村長が実施するものとなっている。 ②予防接種に関する制度改正等に迅速に対応する。接種率向上のため、必要な周知、接種動奨をする。	325,326
5	一般	4	1	4	116健康を支える保健・医療の充実	健康管理事務に要する経費	健康増進課			①円滑な事業展開のために必要な専門職を配置したり、事業に携わる専門職員の資質・技能の向上を図る。 ②市民の利用が少ない状況にある事業について、コストや効率性を含め、事業内容の見直しと改善が課題。	9,501	10,531	6精査・検証	①省力化しながら、市民の健康維持・増進に向けた施策展開のため絶えず検証が必要であるため。 ②必要な人材を確保し、市民ニーズに応じた質の高いサービスを提供するとともに、必要時事業の見直しをする。	11,403
6	一般	4	1	4	116健康を支える保健・医療の充実	母子保健に要する経費	健康増進課			①安心して子どもを生み育てるために、母子保健に関する啓発、健診、相談、育児支援を行う。 ②親が孤立せず、子育てを楽しみ、成長を確認できるよう、関係機関と協働し、継続した育児支援を続けていくことが課題。	92,249	92,124	6精査・検証	①関係機関や市民ボランティアと協働し、継続した育児支援ができた。今後もさらに効果的な支援を行うため検証が必要である。 ②新規ボランティアの育成を行い、育児支援に必要な人材育成を図り、市民ニーズに応じた育児支援を行う。	103,502
7	一般	4	1	4	116健康を支える保健・医療の充実	成人保健に要する経費	健康増進課			①40歳以上の市民を対象に、健康教育・相談・家庭訪問等を行い、生活習慣病予防などの健康づくりへの支援を行う。 ②講座参加者は高齢化・固定化して、特に若い世代の参加が少ない。	217	221	6精査・検証	①ハイリスク者に対する個別対応とともに、現在健康である市民に対しても予防啓発が必要である。 ②講座の開催時期を見直して、各事業につながりを持たせる。	238
8	一般	4	1	4	116健康を支える保健・医療の充実	歯科保健に要する経費	健康増進課			①市民の生涯にわたる口腔の健康保持・増進のため、歯科健康診査・予防処置・健康教育・健康相談を実施する。 ②乳歯のむし歯は減少してきたが、永久歯のむし歯や歯周疾患は罹患者が多く、国保に占める歯科医療費の割合は依然高い。	2,595	2,502	6精査・検証	①むし歯や歯周病を予防し、生涯自分の歯で食事ができるよう、引き続き歯科健診や健康教育・健康相談を充実させていく必要がある。 ②歯周疾患検診受診率の向上を図るため、周知や啓発を強化する。	2,606

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	所管課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	25年度決算額 [千円]	26年度決算額 [千円]	総合評価	①評価の理由 ②平成27年度に取組む改革・改善内容	27年度予算額 [千円]
9	一般	4	1	4	116健康を支える保健・医療の充実	精神保健に要する経費	健康増進課			①講演会や学習会・相談・家庭訪問等を実施し、市民のこころの健康づくりや、精神障がい者が地域で生活しやすいようにする。 ②精神科通院者は毎年増加しており、地域の中で病気を理解し支えていく必要がある。	1,001	727	6精査・検証	①誰もが住み慣れた地域で生活しやすいよう支援が必要である。 ②リーフレットやカードを使って相談窓口の周知を行い、こころの相談がしやすい環境を作っていく。	657
10	一般	4	1	4	116健康を支える保健・医療の充実	フッ化物洗口事業	健康増進課	○	○	①国のフッ化物洗口ガイドラインを基に、保育園・幼稚園・小学校・中学校特別支援学級においてフッ化物洗口を行い、生涯むし歯になりにくい強い永久歯を育てる。 ②小学校1年生で開始した洗口を、今後毎年1学年ずつ増加させ、6年生まで継続実施させる。	1,396	1,701	7拡充	①子どものむし歯を予防することは、歯科医療費の抑制にも貢献でき、安心して子育てしやすい街づくりにも繋がる。 ②小学校2年生を5月から継続実施し、小学校1年生に対して、健康教育と洗口指導を行い、2学期からフッ化物洗口を週に1回実施する。	2,075